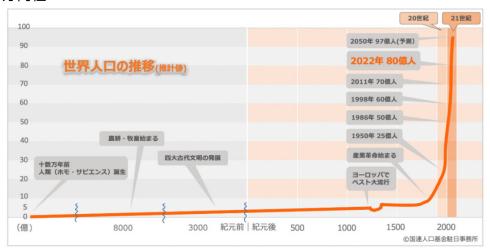
「大加速期」以降の倫理

担当者:太田和彦

研究室:Q6012

1. プロジェクト研究テーマの設定理由と内容

◆研究の方向性

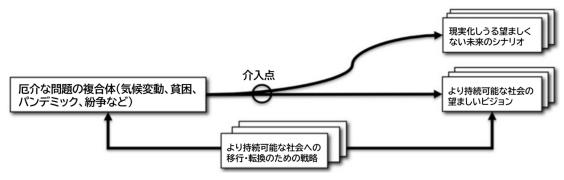


「大加速」(great acceleration)とは、1950 年代から見られる GDP、人口、都市化、交通量、森林破壊、汚染などの急激な増加を指す用語です。人類が地球の生態系に及ぼす影響を浮き彫りにする概念といえます。多くの指標は2000年代に入っても成長を続けていますが、一部では鈍化が報告されています。この減速は、人々と生態系に利益をもたらす可能性がある一方で、社会的な混乱と摩擦を引き起こすかもしれません。

本研究室では、この「大加速」とその減速がもたらす影響と意味を探求し、社会をより持続可能で再生可能にするための移行を実現するための道筋を明らかにすることを目指しています。

しかし、気候変動、資源の枯渇、社会的不平等、政治の不安定性などの人類が直面する問題は、 それぞれが相互に、複雑で広範な影響を及ぼし合っています。本研究室は、この状況に分野横断 的に対処し続けるための方法を、【食と農】、【環境倫理学】、【シリアスゲーム】という 3 つの視点 から模索しています。

◆具体的な研究活動について



太田が関わってきた・関わっている主なプロジェクトは以下のようなものです。いずれも、より望ましいビジョンを実現するための、現状への介入点を探り、適切な介入方法を模索するというアプローチをとっています。

【食と農】 ポール・B・トンプソンの著作邦訳(『〈土〉という精神』、『食農倫理学の長い旅』)、アジア太平洋圏食農倫理会議の主催(第4回、第5回)、フードテックの動向の報告書作成 【環境倫理学】 都市緑地の意義の人文学的な検討(『都市の緑は誰のものか』)、ヨルゴス・カリスの著作共訳(『LIMITS』)、バイオミミクリー技術や気象コモンズの ELSI/RRI の探求 【シリアスゲーム】 社会・環境問題をテーマとしたゲームの制作とワークショップの実践、研究所や図書館などでの「シリアスボードゲームジャム」の定期開催(2018年度以降、4回実施)

◆ゼミメンバーの卒業研究のテーマ

本研究室では、大加速期に生じている混乱と摩擦に、何らかの接点を持つテーマであれば、食と農、環境倫理学、シリアスゲームに限らず、幅広く探求することができます。例えば、以下のようなキーワードが扱われています。

【食と農】 世界飢餓、国連 WFP、食育、体験型牧場、フードロス対策、スローフード運動、フードバンク、都市農業、フードツーリズム、「都市食料政策ミラノ協定」、子ども食堂、学校給食、農協、コミュニティが支援する農業(CSA)、食玩ブームとオタク文化、ヴィーガニズム

【環境倫理学】 社会実践理論、経路依存性とアンロック、理論と実践のギャップ(TPG)

【シリアスゲーム】 社会的差別とゲーム、倫理的ジレンマとゲーム、超学際研究とゲーム

【ヒトと動物の関係】 動物倫理、アニマルウェルフェア、環境エンリッチメント、動物園の歴史、アニマルセラピー、家畜化の歴史

【その他】 子どもの貧困のイメージと実態のギャップ、少子高齢化社会の防災対策、ファストファッションのグリーンウォッシュ、マイケル・サンデルのコミュニタリアニズム

2. プロジェクト研究の進め方

プロジェクト研究では、自ら問いを立て、調査を進める中でそれを更新し、自らそれに答えを出す力を養成します。3 年生は、予備調査をふまえて自身の研究テーマを決め、論文で扱う RQ(リサーチクエスチョン)を立てます。そして、テーマに関連するキーワードごとに先行研究を探し、まとめます。また、お互いに関連文献を探し合うことで、検索技術の向上と他のメンバーの研究テーマの理解を進めます。4 年生は、中間発表会で、新しい 3 年生に自分の研究内容を紹介します。主に文献調査を通じて、RQ に答えを出します。調査で得られたより深い洞察をふまえ、当初の RQを変えても構いません。そして、卒業論文のアウトラインを作り、草稿を書き、他のメンバーとのディスカッションを重ねて、完成稿にします。希望者は学術誌への投稿も可能です(要相談)。



3. プロジェクト研究のための前提科目および関連科目

Q2 に開講される「環境思想論」を履修してください。また、3 年次 Q2 に開講される「総合演習 B」(太田)を履修してください。履修が難しい場合は必ず相談して下さい。

環境政策コースの履修が望ましいですが、どのコース履修者も歓迎します。

4. プロジェクト研究開始までの準備

「太田ゼミの 100 冊」(下記リンク)のタイトルのリストを見て、自分の関心と合いそうな書籍を 2,3 冊ピックアップし、図書館や書店でそれらを入手して、目を通してください。精読・通読しなく ても結構です。「志望理由書」には、どの本に、どのような理由で関心を持ったかを簡単に書いてく ださい。内容についてまとめる必要はありませんが、その本がどれくらい自分の関心に応えてくれ そうか、あるいは関心からずれているかを面接で聞きたいと思います。

https://docs.google.com/spreadsheets/d/1btNADc5pob3WDew1-

EZE3KYgiGnQzvkLu Kvbf B98M/edit?gid=229446982#gid=229446982&range=A1

5. その他

- · Slack を使って、質問や情報共有、連絡事項のやり取りをします。
- ・ 文献調査を主とする探究型の学習をしたいと考えている方、環境問題・社会問題に食などの 観点から取り組むことに関心のある方にはお勧めのゼミです。一方で、統計やアンケート調査、 自然地理学的フィールドワークを主な研究手法としたい方、多くの文章を読むことに苦痛を覚 える方には向いていないかもしれません。
- ・ ゼミは火曜 3・4 限に Q 棟で行っています。見学歓迎です。希望者は事前にメールでご連絡く ださい。

6. 選考方法

プロジェクトアワーの参加が必須です。日程は後日発表します。志望理由書(学部指定書式)と面接(関心のあるテーマなど)で採否を決定します。